



事業、制度など

4市連携による台湾東部・花蓮県豪雨災害救援募金を贈呈しました

概要	<p>座間市、大和市、海老名市、綾瀬市の4市は、11月7日、台北駐日経済文化代表処横浜分処に、台湾東部・花蓮県豪雨災害救援募金を贈呈しました。</p> <p>令和7年9月に発生した台風18号に伴う大雨の影響で、甚大な被害を受け被災された台湾東部・花蓮県の方々を支援するため、日台高座友の会（橋本吉宣会長）からの依頼により、10月6日から30日まで、「大和高座（大和・海老名・座間・綾瀬）広域連携による台湾東部・花蓮県豪雨災害救援募金」を実施しました。</p> <p>この間に皆様から寄せられた浄財は、日台高座友の会および4市合計で763,547円（日台高座友の会：185,000円、大和市：232,776円、海老名市：130,000円、座間市：129,721円、綾瀬市：86,050円）です。集まった浄財を現地で役立てていただくため、日本における外交の窓口機関である台北駐日経済文化代表処横浜分処（横浜市中区日本大通60朝日生命横浜ビル2階）で贈呈式を行いました。</p>
募金名称	「大和高座（大和・海老名・座間・綾瀬）広域連携による台湾東部・花蓮県豪雨災害救援募金」
贈呈式	<p>贈呈式には同会の橋本会長・伊澤健志朗事務局長、古谷田力大和市長、内野優海老名市長、佐藤弥斗座間市長、橋川佳彦綾瀬市長が出席し、冒頭で范振國^{はんしんこく}処長は、「日台高座友の会並びに4市の皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。お預かりした募金を台湾政府に届け、被災地の復興に生かすとともに、皆様の温かいお気持ちをお伝えします。」と話しました。</p> <p>その後、佐藤座間市長は、「今回の募金は、台湾と座間市との関係から、コロナ禍でご支援いただいたことへの感謝を込めて行いました。これからもお互いを思いやる関係を大切にしていきたいと思います。」と挨拶を述べ、代表して橋本会長が范処長に募金目録を手渡しました。</p>
問い合わせ先	総合政策部人権・男女共同参画課 多文化共生係 TEL 046 (252) 8035 FAX 046 (252) 0220